

縁を紡ぐ



ⓑ

二部中央青年館



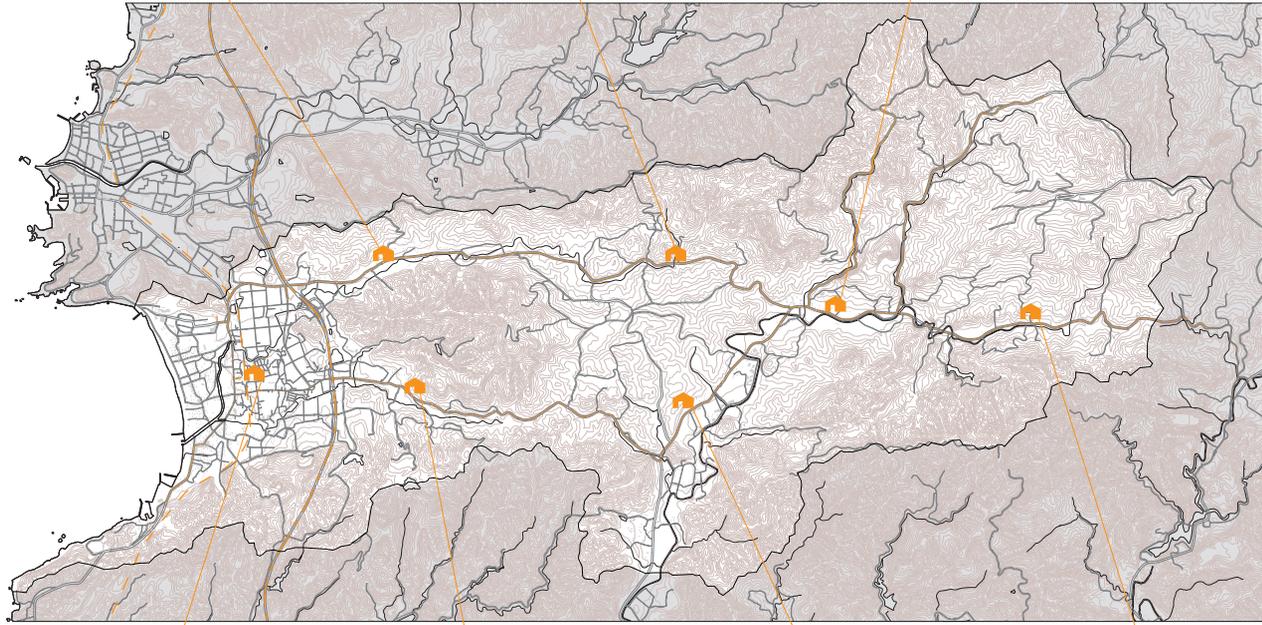
Ⓓ

川上青年館



Ⓕ

平久里中青年館



Ⓐ

富山観光案内所



ⓒ

合戸青年館



Ⓔ

平久里下青年館



Ⓖ

山田青年館

01 Background 過疎地域におけるQOLの維持

過疎地域は日本の国土約6割を占める。これらの地域において、できるだけ低コストで住民の生活の質を維持できる仕組みを考えたい。

02 Site&Survey 過疎化が進むまち__地域に有るもの・足りないもの

対象地は南房総市富山地区。

過疎地域に指定されているこの場所で必要とされているサービスと、それを可能にするための材料を調べるために地域に有るもの・足りないものをマッピングして調査・分析した。

有るもの

足りないもの



📍_福祉施設

📍_主な交通機関

📍_文化施設

📍_教育施設



JR内房線

富山地区内の停車駅は岩井駅1つのみ。利用者が少ないため平日運行は1本/h。



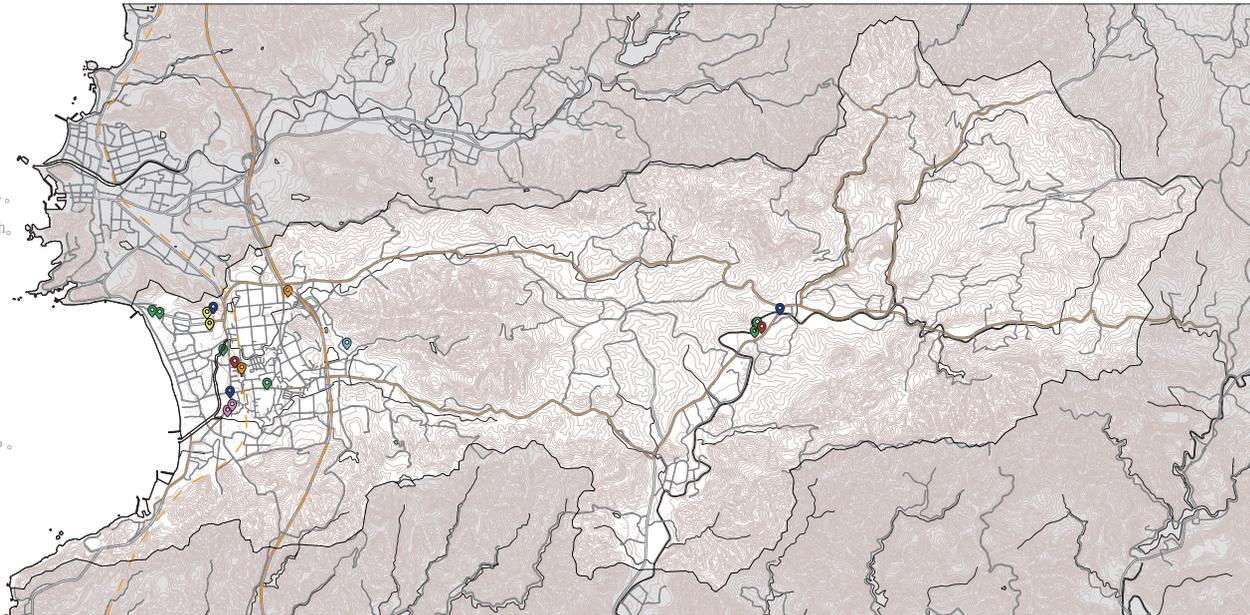
市営路線バス富山線トミー

富山地区を8の字型に巡る。オンデマンドサービスを適用している。



富津館山道路(高速道路)

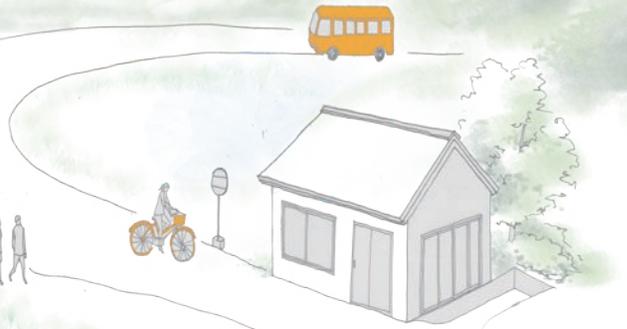
停留所は道の駅のみ。



📍_行政・金融施設

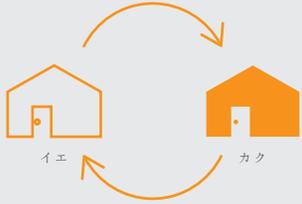
📍_商業施設

📍_医療施設



ダイアグラム、概念図

03 Diagram 移動巡回型サービスを用いたバス停の設計



地域に点在する施設をバス停として活用する。
 普段は憩いの場＝イエとして、
 時折サービスを接続するカクとして
 住民の生活を見守る空間を紡ぐ。

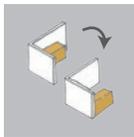
04 Proposal リノベーション手法

地域に点在する施設の実測を行い、得られた図面や実感から
 現在ある問題点と地域のハブとして生まれ変わるための解決
 策を考え、4つの共通したルールを作成した、

内部動線・コアの配置



壁を取り除く



コアの配置を
ずらす

外壁の補強・外部動線



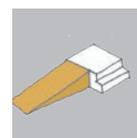
LVL材で作成した控え壁で補強する

移動ユニットの接続



地面を掘る

段差の改善



スロープをつける

